

> 試験名

ALL202-U 付随研究1. **終了**

急性リンパ性白血病におけるT細胞受容体 (TCR)、免疫グロブリン (Ig) 遺伝子再構成を利用した微少残存病変 (MRD) の定量

研究事務局：横田 昇平（京都府立医科大学 第三内科）

概要・目的

T 細胞受容体もしくは免疫グロブリンのクローン性遺伝子再構成から設計した症例特異的なプライマーを用いて骨髄中の微少残存白血病 (MRD) を RQ-PCR 法で経時的に評価し、予後との関連を検討する。

対象

- ・ ALL202-U 試験に登録されている症例
- ・ 本随伴研究への参加について文書による同意が得られている

目標症例数

200 例 (Ph+ALL202、ALL202-0 と併せて)

注) 本随伴研究では DNA を使用するため、RNA 用検体とは別の容器にて提出していただく必要があります。